

平成26年度 清原北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の教育」を基盤に、自ら考え正しく判断し、豊かな心をもってたくましく生きる児童を育成する。

【考え深く】

【こころ豊かで】

【たくましく】

活用期	・	自ら考え工夫する子	・	こころ豊かで思いやりのある子	・	気力と体力のあるたくましい子
基礎期	・	自分で考え学習する子	・	親切で思いやりのある子	・	元気でがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

【小規模特認校として、保護者や地域から信頼され協力し合いながら、夢と理想をもって共に成長していく学校】

小規模特認校として、保護者・地域と共に新しい学校を創っていくことが重要である。まず、教職員が「児童と共にある教育活動」の実践を通して信頼を得て、学校が地域の核となり、保護者や地域を巻き込みながら教育環境の充実・向上に努力し、特色ある学校としての評価を高める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

《基本方針》

「小規模特認校として、保護者や地域から信頼され協力し合いながら、夢と理想をもって共に成長していく学校」

視点①【達成感と成就感】

児童一人ひとりが目当てをもって、生き生きと学習や活動に取り組み、成就感や達成感を味わうことのできる学校

視点②【個性と認め合い】

児童のよさや個性が発揮でき、お互いに認め合い、励まし合いながら伸びていこうとする気風が満ちている学校

視点③【気力と体力】

児童自らが、体力・健康・食を関連付けた望ましい生活習慣を身に付け、気力と体力が充実している学校

【清原地域学校園教育ビジョン】

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成
～キャリア教育を核として～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

・ 学校が地域の核になり、「選ばれる学校」として、PTA・KASA・地域学校協議会の双方向的相互協力による教育的活動の場を充実させる。

○ 清原地域学校園及び小中一貫教育への積極的な取り組みにより「学校力」の向上を図る。

【学 習 指 導】

・ 個に応じた細やかな指導により、基礎学力の充実を図る。

○ 児童生徒と達成感や成就感を共有し合うことにより、「学ぼうとする力」を育成する。

【児 童 生 徒 指 導】

・ 集団的問題解決活動の実践により「自己実現力」を育成する。

・ 道徳教育の充実を図り、認め合い、励まし合い、協力し合える豊かな人間関係を構築し「よりよく生きようとする力」を育成する。

【健康（保険安全・食育）・体力】

・ 《スクスク～体力・保健・食育を統合した健康指導》及び、全児童によるランチルーム給食により、心身共に「健康な生活を創造する力」を育成する。

○ 「清原地域学校園体力チェックカード」により、体力増強に取り組む。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 A 1 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	① 学び方の指導、学びの記録の充実、教育相談及び保護者との懇談の工夫により、主体的で前向きな学習習慣及び学習意欲の向上を図る。	B	【達成状況】児童の肯定的回答 95.0% 保護者の肯定的回答95.7% 【次年度の方針】 教職員の共通理解を図りながら、学習指導、児童指導の充実に努めるとともに、児童送迎時などのあらゆる機会を通して保護者とのコミュニケーションを強化し連携・協力していく。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 A 2 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	① 学校及び学級経営の課題の明確化、共有化を図り、組織的・継続的に教育課程を実践する。	B	【達成状況】児童の肯定的回答 99.2% 保護者の肯定的回答95.7% 【次年度の方針】 個々の学級経営の課題を明確化するとともに、各担任・全職員が共通理解のもと、児童・保護者の気持ちを受け止めながら学級経営の充実を図る。
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 A 3 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	① <u>日常的な学級経営を中心に、「清原っ子の約束」を自校化するなど効果的に活用し、規則・規範意識の向上や、その行動化の目標を設定しながら、児童指導の強化を図る。</u>	B	【達成状況】児童の肯定的回答 85.7% 保護者の肯定的回答99.1% 【次年度の方針】 <u>基本的な生活習慣定着のため、学級を核として他学年との関連、保護者の理解・協力・連携を強化するとともに、全校道徳等の実施により全児童が同じ価値観を共有しながら、規範意識の向上を図っていく。</u>
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 A 4 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	① 学習に対する個人的目標・集団的目標・家庭学習の目標を設定し、継続的に努力する学習環境を充実させる。 ② <u>小中が連携し、国語科、算数・数学科、会話科、理科、音楽、体育において授業改善に取り組む。</u>	B	【達成状況】児童の肯定的回答 95.8% 保護者の肯定的回答96.2% 【次年度の方針】 各種調査等をもとに、児童の実態を教員・保護者が共有し、児童の実態をもとに学級及び児童各個人の適切な目標を設定しながら学力向上に努める。また、<u>他教科においても小中連携をさらに推進し、授業改善に生かしていく。</u>
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 A 5 対応共通アンケートにおける肯定的回答80%以上	① 教育活動全体を通じ、「いじめは決して許されない」ことを理解させるとともに、思いやりや助け合い、規範意識の心を育てる取組の充実を図る。	B	【達成状況】児童の肯定的回答 95.8% 保護者の肯定的回答76.8% 【次年度の方針】 「いじめ防止基本方針」に基づき、全職員共通理解のもと、いじめの防止、早期発見に努めるとともに、学校の取組みを保護者・地域に発信し、連携・協力した取組みとしていく。

		A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 A 6 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① 授業時間の確保に努め、前年度の反省や学校評価等を生かしながら教育課程を実践する。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 94.1% 保護者の肯定的回答 99.2% 【次年度の方針】 各学校行事実施後の反省や年度末の学校評価等により、実施・運営面での状況把握を的確に行い、実質的に教育効果を高めることができる教育課程の運用に努める。
		A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 A 7 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① 学校公開や地域回覧、ホームページ等により、積極的に情報発信するとともに、保護者や地域のニーズの把握に努める。 ② 「清原地域学校園だより」等の発行・配布を通して、<u>小中一貫教育の取り組みを保護者・地域に発信し、理解を促進する。</u>	B 【達成状況】保護者の肯定的回答 96.6% 地域の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 保護者や地域のニーズに対する説明責任を果たしながら、連携・協力が図れる双方向的な学校づくりに取り組む。また、今後も「<u>清原地域学校園だより</u>」等の発行・配布により、<u>小中一貫教育の取り組みを保護者・地域に発信する。</u>
		A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 A 8 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① 地域各実行委員会が企画・運営し、学校の特色ある教育活動となっている「3連携プログラム」の充実を図る。	B 【達成状況】保護者の肯定的回答 97.5% 地域の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 学校が地域・家庭と連携する意義を明確にするとともに、保護者・地域が学校に期待することを的確に受け止め、教育課程に位置付ける努力を継続する。
		A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 A 8 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① 児童の学習や生活の場、また、地域が活用できる公共の場としての校舎内外の環境整備に努める。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 94.1% 保護者の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 防災対策も含め、児童の安全・安心確保のための施設・設備の修理・修繕や環境整備に努める。
		B 1 学校は地域学校協議会と協力・連携し、教育活動の充実を図っている。 【数値指標】 B1 対応学校独自アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① 地域学校協議会の活動内容及び運営状況を広く公表し、意見を求めることにより協議会の活性化を図る。	B 【達成状況】保護者の肯定的回答 95.7% 地域の肯定的回答 100% 【次年度の方針】 地域学校協議会での協議内容及び活動内容の公開性を強化するとともに、学校経営への参画強化を図る。また、協議会委員による学校関係者評価を次年度の学校運営に確実に反映させる。
教育活動の状況	生 活	A 10 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 A 10 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① <u>小中連携した「地域学校園あいさつ運動」を実践し、児童の意識の向上を図る。</u> ② 児童会や各学年による自発的・自治的な取り組みを促進する。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 89.9% 保護者の肯定的回答 82.6% 【次年度の方針】 児童への直接的な指導を継続するとともに、<u>保護者や地域（地域学校園）における啓発活動に取り組む。</u>また、児童会や各学年による自発的・自治的な取り組みを促進する。

	A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 A10 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① 具体的な言葉の使い方及び言葉を使う心の両面指導を重視し、学校・家庭・地域が連携した継続的な指導を実践する。 ② 学校行事や学級懇談会などを通して、学校から家庭・地域に積極的に働きかけていく。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 79.0% 保護者の肯定的回答 69.8% 【次年度の方針】 児童への直接的な指導を継続するとともに、<u>保護者や地域（地域学校園）における啓発活動に取り組む</u>。さらに、学校行事や学級懇談会などを通して、学校から家庭・地域に積極的に働きかけていく。
健康・体力	A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 A12 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① スクスクプランの実践において学級活動や委員会活動など児童の主体的な活動を充実させ、自らの生活を創る力の育成を図る。 ② 日ごろから運動しやすい場や環境を工夫して設定し、<u>各種検定には、清原地域学校園（小中学校共通のもの）で統一した検定表を効果的に活用する。</u>	B 【達成状況】児童の肯定的回答 81.5% 保護者の肯定的回答 86.6% 【次年度の方針】 スクスクプランの実施により、積極的に「食と保健と体力」を結びつけた健康指導を行うとともに、日ごろから運動しやすい場や環境を工夫して設定し、<u>各種検定には、清原地域学校園（小中学校共通のもの）で統一した検定表を効果的に活用する。</u>
	A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 A13 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	① <u>地域学校園における「朝食のすすめ」や「お弁当の日」を効果的に活用し、保護者と連携を図った食育を実践することで、保護者の意識向上に努める。</u>	B 【達成状況】児童の肯定的回答 74.8% 保護者の肯定的回答 87.1% 【次年度の方針】 偏食を少なくし栄養バランスのとれた食生活ができるよう、通常の給食指導の工夫・強化に取り組むとともに、<u>地域学校園における「朝食のすすめ」や「お弁当の日」を活用しながら保護者の意識向上に努める。</u>
	A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 A14 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 絶対評価や相対評価を生かした的確な児童理解、個に応じた指導内容、児童の変化に対応した迅速な指導方法を実践し学力向上を図る。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 91.6% 保護者の肯定的回答 90.8% 【次年度の方針】 学年の系統性や関連性を明確にし、継続的な指導を強化するとともに、指導助手やかがやき教室指導員との連携を図りながら、個の実態や個の変化に対応した指導に努める。
学習	A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 A15 対応共通アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 基本的な学習習慣の確立や発達段階に応じた基礎的学力の定着を図るため、指導助手や特別支援教室指導員との連携を図りながら、より効果的な個に応じた指導内容や指導方法を工夫する。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 82.2% 保護者の肯定的回答 94.3% 【次年度の方針】 今後も、児童の実態（習得状況・興味関心等）を的確に把握し、指導助手やかがやき教室指導員との連携を図りながら、より効果的な指導内容・指導方法の改善に努める。
本校の特色・課題等	B2 コミュニケーション力の育成を目指し、各教科における表現力の指導や会話科の指導が充実している。 【数値目標】 B2 学校独自アンケートにおける肯定的回答 80%以上	○ 宇都宮大学と連携し、会話科のカリキュラムの再構築及び他教科、領域との関連を明確にし、統合的・継続的にコミュニケーション力の育成を図る。	B 【達成状況】児童の肯定的回答 94.9% 保護者の肯定的回答 86.1% 【次年度の方針】 より実践的なコミュニケーション力の育成を図るため、宇都宮大学や外部講師との連携を強化するとともに、児童の実態（習得状況・興味関心等）を的確に把握した指導内容・指導方法の改善に努める。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価のための全体アンケートにおいて、８５％以上の肯定的な回答を得た項目は、児童生徒評価１２／１６，保護者評価１４／１７，地域住民１６／１７，そして、教職員１６／１７であり、全体として児童・保護者・地域・教職員とも学校教育に対する満足度及び達成感が高い。
- ・あいさつの励行や言葉づかい，望ましい食生活，生活のきまりの徹底，学習習慣や基本的な生活習慣の形成には，児童の実態や学年間の系統性を明確にし，学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担いながら，連携・協力して継続的に指導の充実を図っていく必要がある。
- ・保護者，地域，児童の学校教育に対する満足感や達成感のために，今後も継続して個々の教職員の指導力（学習指導力・児童指導力・学級経営力）の向上をさらに図っていく必要がある。

６ 学校関係者評価

- ・学校と地域が連携して子どもの教育の質的向上を実現していると感じる。地域の様々な教育資源を生かして魅力的な教育活動が展開されている。
- ・基本的には今の学校経営の方針を継続して行っていただきたい。さらに小規模特認校ということから，先を見通してビジョンをもって取り組んでいくことが必要だと感じる。
- ・あいさつの励行や言葉づかい，望ましい食生活については，家庭と地域の問題でもある。

７ まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・学校・保護者・地域が連携した取組みの成果と課題を明確にし，教育課程の工夫改善をしながら特色ある学校づくりを進めていくことが重要である。
- ・学校の取組みについて一定の評価は受けているが，小規模特認校としての信頼される学校づくりに向けて，今後も，学校・保護者・地域の連携を深め，それぞれの役割を明確にして主体的に活動し，成果を上げる仕組みの充実を図っていくことが必要である。
- ・学校が保護者や地域と連携して子どもの成長にとって効果的な取組みを行うために，さらに学校の現状や児童の実態を知ってもらうための機会を，年間を通して意図的・計画的に設定するなどの工夫が必要である。